和漢朗詠集

四卷仰白

1 5
1317

門ホ 如 2 988
門イ 5 號 1317 巻

和学辨序

[illegible]

和学辨巻一

東海　平維章著

[illegible]

十五

十六

十七

十八

十九

廿

廿一

廿二

廿三

廿四

廿五

廿六

廿七

廿八

廿九

卅

和字辨卷二　　東海　平維章著

生の語ゟ小けむふと論語とかゝる〻二百年以前の出ゟと見ゆれバ[illegible]
[illegible]洙泗とゝふも[illegible]人の[illegible]見ゆ[illegible]海語[illegible]

[illegible]

見て花離れて花離れて花を見ること

七十九 見宜流の医師の説話

七十八 馬鞍の盗人の説話

七十七 医家の某師を信仰する人の説話

七十六 石川大山の家に楊子法言出でる文字なしの説話

七十五 上野くいの説話

七十四 柘殻を用ひる人の説話

七十三 少名彦命と蛾の説話

七十二 蛾の説話

七十一 上野くいの説話

七十 信濃の説話

七十九 見宜流の医師の説話

七十八 馬鞍の盗人の説話

七十七 医家の某師を信仰する人の説話

七十六 石川大山の家に楊子法言出でる文字なしの説話

七十五 上野くいの説話

七十四 柘殻を用ひる人の説話

七十三 少名彦命と蛾の説話

七十二 蛾の説話

七十一 上野くいの説話

七十 信濃の説話

八十一 法令の式は儒式和語の花言葉を入れ用ひる

八十二 法令の式は儒式和語の花言葉を入れ用ひる

八十三 合寄跡

八十四 地獄の絵を見れば罪人の形

八十五 古寒の説話

八十六 古寒の説話

八十七 古寒の説話

八十八 古寒の説話

九十一 元吉郎右衛門の説話

九十二 元吉郎右衛門の説話

和學辨　大尾

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白